

令和5年度 第2回 こども部会 会議録

【日時】 令和5年6月21日(水) 13:30~15:00 美馬市役所 北館103

【参加者】 池田学園、池田支援学校、池田支援学校美馬分校、美馬市・長寿障がい福祉課
美馬市こどもすこやか課、つるぎ町福祉課、美馬保健所、ピース、ワンハート穴吹
相談支援事業所ワンハート、障害者支援センター小星園、障害者支援センターかしがおか
相談支援センターイノセント (計14名)

【会議録】 相談支援センターイノセント

<会議内容>

1. こども版障がい福祉のしおりについて

(1)修正箇所について確認を行う。その他、修正等があればイノセントまで連絡をお願いします。

2. 情報交換

(1)通所支援事業所の空き状況について

○ピース:現在、1名空きがあるが来年卒業する児童がいない。現段階では来年の状況が分からない。

○ワンハート穴吹:現在、空きはなく、来年の空きも読めない状況。利用の問い合わせは来ている。

○イノセント:現在、空きはなく、来年も難しい状況。

放課後等デイサービスの利用のニーズが多いが美馬市内の事業所に空きがない。阿波市やその他の地域の事業所を検討する場合、送迎の調整も必要になってくる。

(2)池田支援学校体験入学について

○8月3日に小・中・高等部の体験入学。小学部は未就学、中学部は小学5,6年生、高等部は中学生が対象。詳細については池田支援学校のHPに掲載しているが直接問い合わせも可能。

(3)その他

○療育手帳の更新時、IQが高く、更新が出来なかったケースがあった。また療育手帳が取得できず、医師の意見書で入学し、その後、精神保健福祉手帳を取得して就労に繋がったケースがあった。

○通所支援事業所での個別の支援について。支援や関りなど対応に悩むことがあり、どのように支援をしていったらよいか。

・人や物に対するこだわりや執着が強いので学校では関り方を統一したり、シンプルな支援を行っていた。絵カードは支援方法の一つであり、個人に合った方法で支援をしていく事が大事。

○支援学校卒業後の学校のフォローについて

・卒業後間もない時期などは必要に応じて進路担当者が就労先へ訪問を行ったりしているが、学校が長期間支援をすることは難しいので相談支援事業所や就労支援機関に引き継いでいる。そのために在学中から進路相談やサポート会議で支援関係者と顔つなぎを行っている。

○障害児入所施設退所後の生活について

・生徒の状況により早い段階から卒業後の進路について検討が必要。県外の生徒やケースによって関わる機関が違うので密な連携が必要だが調整が難しいケースもある。また、卒業の年齢になっても行き先が見つからないケースもあり、過齢児の対応が課題となっている。

○不登校について

・美馬分校では半数ほどが不登校を経験。支援学校に入学して環境が変わり登校できるようになったり、時間等を調整する事で登校できるようになった生徒もいるが、障がい受容が難しく、同級生と一緒に授業を受ける事を嫌がる生徒もいる。池田支援学校では地元の中学校で不登校を経験し、支援学校に進学したケースでは生活が整う事で体調も安定し、連続した登校に繋がったケースがある。現在は長期で欠席をしている生徒はいない。

・支援学校で不登校の生徒が増えており、家族支援が必要なケースも多く、対応が難しい。

○こども部会について

・2か月に1回、開催しているが議題等がなければ開催の期間を調整。検討したい議題等があれば案内メールに記入してください。